

野蒜復興新聞

2014 ベルトコンベヤ 始動



野蒜北部丘陵地区の宅地引き渡しをめざし、ベルトコンベヤが1月13日から始動した。大量の土砂を搬出するのに大型ダンプトラックだけで運ぶ場合3年以上かかる見通しのところを、ベルトコンベヤを利用することで造成工事期間を大幅に縮める計画が本格化した。(野蒜地区南余景で撮影)

高台移転先での洲崎エリア希望世帯と並び画地希望世帯の画地がそれぞれ決定した。洲崎エリアは、旧洲崎地区にお住いの方から集団で移転したいとの要望で移転エリアを設定し、12世帯の方から希望があり、1月11日に小野市民センターにおいて画地決めを行い画地が決定した。並び画地は親子等で2画地を連続して希望したい世帯が選べる画地で、申込受付をしたところ12組(24世帯)から希望があり、そのうち9組(18世帯)が重複したことから1月19日に野蒜市民センターで抽選会を実施した。

抽選会当日は並び画地希望者と市関係者など約40人が集まり、市の職員から希望画地の抽選方法の説明を受け、東部エリア、中央エリア、西部エリアと順次決定した。

今後は、決定した並び画地以外の画地から希望する画地の把握と、重複世帯の抽選会を実施し、3月中旬までに移転先画地が決定するよう進めていく。

並び画地 洲崎エリア

画地 決定





今年度10回目の高台移転部会
今後の協議事項などを検討中

第10回高台移転部会が1月25日に開催されました。部会員と市関係者など合わせて約40名が参加しました。部会では並び画地の区画と洲崎地区の区画が決定し、今後は一般区画の画地決りを3月中旬までに実施します。また、高台移転部会として今後どのような課題を優先して検討すべきかなどを協議しました。

検討課題として挙げられたのは「団地名」「造成工事状況の視察」「まちづくりルール」「現在の懸案事項への対応（被災者の生活再建に係るQ&Aの作成等）」「災害公営住宅の状況（今後の工程の状況報告等）」などです。また3月中旬には集団移転希望者の画地が決定することに伴い、まちづくりルールを定めていく必要性なども報告されました。次回の部会ではこれらの意見を再度とりまとめ、優先課題の協議を進めてまいります。

復興部 課題検討

今年度10回目の復興部会が1月21日に開催され、今後の部会の進め方などについて協議しました。

復興部会が設立されたのは平成24年の7月であり、その後は定期的な協議の場をもってきました。そして年度変わりの26年度以降も従来の体制でいくべきか、もしくは新たな体制でいくべきかなどいろいろな意見が聞かれ、今後野蒜地区復興協議会の他部会も含め方向を定めていくこととなりました。

また山形県のNPO法人と実行委員会と共同で進めている「お地藏さんプロジェクト」の進捗状況として、3月11日（予定）にお地藏さんの『建立除幕式』を野蒜地区の長音寺前で行うことの報告があり、改めて市報等でお知らせすることなど共有されました。

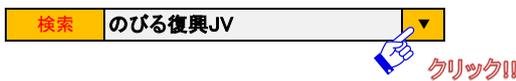


野蒜北部丘陵地区 震災復興事業HP開設

JV事務所（共同企業体）により昨年12月25日から「野蒜北部丘陵地区震災復興事業ホームページ」が開設されました。ホームページには工事概要、工事状況写真、ライブカメラ、環境保全の取組、情報紙のびる等、工事状況を発信しております。インターネット検索画面で「のびる復興JV」と打ち込みクリックするとご覧いただけます。また「野蒜まちづくり協議会ホームページ」からもアクセスできますのでぜひご覧ください。

野蒜北部丘陵地区震災復興事業ホームページ

HPアドレス : <http://nobiru-fukkou.jp>



大成・フジタ・佐藤・国際開発・エイト日技共同企業体
連絡先 : 0225-86-1020